

行  
っ  
て  
き  
ま  
す  
。



新海誠監督 最新作

# すずめの戸締まり

原作・脚本・監督：新海誠 キャラクターデザイン：田中将賀 作画監督：土屋堅一 美術監督：丹治匠

制作：コミックス・ウェブ・フィルム 制作プロデュース：STORY Inc. 製作：「すずめの戸締まり」製作委員会 配給：東宝

©2022「すずめの戸締まり」製作委員会 TOHO

11月11日(金) 全国ロードショー

[suzume-tojimari-movie.jp](http://suzume-tojimari-movie.jp)

# 新海誠監督 最新作

2016年『君の名は。』 2019年『天気の子』

国境や世代の垣根を超え、世界中を魅了し続けるアニメーション監督・新海誠。

全世界が待ち望む最新作『すずめの戸締まり』は、  
日本各地の廃墟を舞台に、災いの元となる“扉”を閉めていく少女・すずめの  
解放と成長を描く現代の冒険物語だ。

そのヒロインの声に命を吹き込むのは、  
1700人を超えるオーディションから新海誠自ら探し出した、  
たったひとりの才能・原菜乃華。

みずみずしい原石がすずめとともに歩む道の先で待つのは、  
見たこともない風景。人々との出会いと別れ。驚きと困難の数々。  
それでも前に進む彼女たちの冒険は、  
不安や不自由さと隣り合わせの日常を生きる我々の旅路にも、一筋の光をもたらす。

過去と現在と未来をつなぐ、“戸締まり”の物語。  
その景色は、永遠に胸に刻まれる。

九州の静かな町で暮らす17歳の少女・鈴芽(すずめ)は、

「扉を探してるんだ」という旅の青年に出会う。

彼の後を追うすずめが山中の廃墟で見つけたのは、  
まるで、そこだけが崩壊から取り残されたように

ぼつんとたたずむ、古ぼけた扉。

なにかに引き寄せられるように、すずめは扉に手を伸ばすが…

やがて、日本各地で次々に開き始める扉。

その向こう側からは災いが訪れてしまうため、  
開いた扉は閉めなければいけないのだという。

——星と、夕陽と、朝の空と。

迷い込んだその場所には、

すべての時間が溶けあったような、空があった——



不思議な扉に導かれ、すずめの“戸締まりの旅”が始まる。